



ほたるっ子

磐梯第一小学校
学校だより第7号
令和3年6月17日
文責：校長 酒井康雄

生きるためにコツコツがんばる姿！

～昆虫の姿にも感動です！～



【感動その1：アリの巣づくり】

アリは地中に巣をつくりますが、巣をつくる時の土はどのようにするのでしょうか。

アリは大あごで砂のつぶをくわえながら巣の入口の周りにおいていきます。巣の入口の近いところから置いていくのですが、最も近いところにおいていくので、必然的に運ばれた砂のつぶは円形になります。

アリ同士が相談することもなく、効率よく作業しています。アリは高いところから俯瞰することなく、きれいに作ろうと思っているわけではないと思いますが、結果的に作られた巣を観察すると、見た目もきれいな形に自然の神秘を感じました。



【感動その2：キバネツノトンボの産卵】

キバネツノトンボは「トンボ」とついでにいますが、カゲロウの仲間です。全国的には局所的に生息する昆虫です。1年でも、5月に多く観察できます。6月に入り、今年は見ることができないかなあと考えていたら、偶然にも卵を草の茎に産み付ける場面を観察することができました。草むらの中から風に揺れてもあまり揺れない草を選び、茎の左右交互に一つずつ卵を産み付けていました。卵がしっかり茎に付くのを確認しながら生み進める姿を見ていると応援したくなります。53個の卵を産み終わると、見事に2列に産み付けていました。キバネツノトンボは、2列にきれいに産み付けようと思ったわけではないと思います。しかし、一直線に産み付けられた

卵は見事としか言いようがありません。産み付けた時間はわずか14分間でしたが、この場面でも自然の神秘を感じました。

これから、ますます多くの生き物が活発に活動する時期になります。もしよかったら、お子さんとじっくり観察してはいかがでしょうか。夏休みの自由研究にしても面白いと思います。